

2021年 12月 28日

委員会設置提案書

提案者（理事名） 原 和彦

委 員 会 の 名 称	UV-C 領域殺菌用途の紫外放射研究調査委員会
英 文 表 記	Research Committee on Ultraviolet Radiation in UV-C region for Disinfection
事 業 部 門	照明に関する研究・調査・助成事業
関 連 常 置 委 員 会 名	分科会運営委員会
設 置 の 趣 旨	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、紫外放射による殺菌技術への関心が高くなっている。UV-C 領域の中で水銀輝線の 254 nm の利用が一般的であるが、近年は人体への有害性が低いとされる 222 nm エキシマ光の利用が始まっており、その技術動向を調査する。また、UV-C は測定信頼性に課題があり、その現状を把握することが重要となっている。本委員会では UV-C による殺菌技術と UV-C 計測器の現状調査を行う。
予 測 さ れ る 成 果	1) ACGIH 改訂など光医学的・光生物学的な文献調査 2) JIS Z 8113 照明用語における遠紫外放射などの定義の検討 3) UV-C 計測器の現状調査
成果のフォローアップ (会員への還元)	・紫外放射に関する用語検討結果を照明用語委員会へ提示 ・研究調査結果報告書の作成
委 員 会 の 構 成 (氏名：所属)	委員長：竹下秀（東海大学） 幹 事：安田丈夫（東芝ライテック株式会社） 奥村善彦（ウシオ電機株式会社） 委 員：大久保和明（山形大学）ほか 5 名程度
設 置 期 間	2022年 4月 ～ 2024年 3月
委 員 会 開 回 数 / 年	6 回程度
活 動 計 画	2022 年度：現状の把握（国際規格、各国の規格、国内企業の動向など）、紫外放射用語の定義 2023 年度：現状把握継続及び調査結果のまとめ
経 費 委員等の旅費の支給対象の有無	■有（理由：照明学会（神田）での会合参加時の旅費） 支給対象者名 大久保 和明（山形大学） 支給予算額 70,000 円（光源・照明システム分科会予算より） <input type="checkbox"/> 無
備 考	

理 事 会 の 承 認

承認

年

月

日